

1

〔問1〕

(1)	
(2)	

〔問2〕

X	
Y	
Z	

1 東南アジアにかかわる各問いに答えなさい。

真由美さんは、社会科の課題学習で、「世界の米」について調べ、発表することになりました。次の文は、その発表原稿の一部です。これを読み、〔問1〕～〔問2〕に答えなさい。

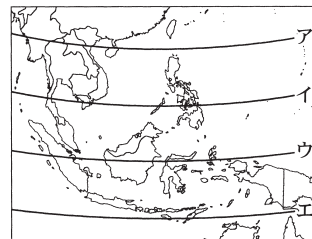
私は、旅行で④東南アジアに行った親戚から、ベトナムの「フォー」とよばれる麺（めん）をお土産（おみやげ）にもらいました。この麺は、うどんやラーメンのように小麦粉から作られているのではなく、米粉から作られていることを知り、米が世界でどのように利用されているか、詳しく調べてみることにしました。

米は⑥世界三大穀物の一つで、多くの国で栽培されており、「ジャポニカ種」、「インディカ種」、「ジャバニカ種」の3種類に大別されます。「ジャポニカ種」は、私たちが普段食べている米で、粒がだ円形で短く、炊くと粘りがあります。日本以外では、朝鮮半島や中国の東北部などで主に作られています。「インディカ種」は、粒が細長く、炊いても粘りのない、少しパサパサした食感になります。東南アジアやアメリカ、インド、中国の中南部などで主に作られています。「ジャバニカ種」は、粒が幅広く大きく、炊くと少し粘りがあります。アフリカの地中海沿岸やイタリア、スペイン、インドネシアのジャワ島などで作られています。

米の調理方法は、一般的に炊くことが多いですが、蒸したり煮たりすることもあります。また、米を粉にして、麺にしたりパンを作ったりすることもあるれば、酒や味噌（みそ）などに加工することもあります。世界各地で、米が様々な食品に利用されていることがわかりました。

〔問1〕文中の下線④に関し、次の(1)、(2)に答えなさい。

- 図1に表したア～エの緯線のうち、赤道にあたるものを1つ選び、その記号を書きなさい。
- 東南アジアの国々は、経済や政治、安全保障などで協力し合う組織をつくっています。この組織と日本との交流は、2013年に40周年を迎え、様々な記念事業が行われました。この組織を何といいますか、書きなさい。



▲図1

〔問2〕文中の下線⑥に関し、表は、世界三大穀物である米、小麦、とうもろこしについて、それぞれの生産量上位5か国を示したものです。表中の〔X〕～〔Z〕にあてはまる穀物を、それぞれ書きなさい。

(単位 千トン)

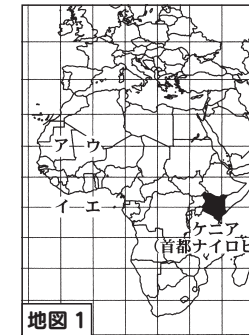
	〔X〕		〔Y〕		〔Z〕
中国	120580	中国	204285	アメリカ	273832
インド	94880	インド	152600	中国	208130
アメリカ	61755	インドネシア	69045	ブラジル	71073
フランス	40301	ベトナム	43662	メキシコ	22069
ロシア	37720	タイ	37800	アルゼンチン	21197

(〔世界国勢図会〕2014/15年版から作成)

〈和歌山県改変〉

2 アフリカ州にかかわる各問いに答えなさい。

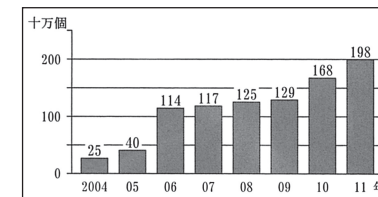
- 0度の経線と0度の緯線が交わる位置を、地図1のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。
- 地図1には直線の国境が多く見られる。その理由をアフリカ州が置かれていた歴史的背景に着目して、簡潔に書きなさい。
- 桜さんは、ケニア産のバラについてノート1にまとめた。



地図1

ノート1 ケニアでは、自然条件を生かしてバラを a 通年で生産している。また、資料1を見ると、b 2006年には、日本向けバラの輸出量が大きく増加していて、2011年には2004年の〔あ〕倍となっている。

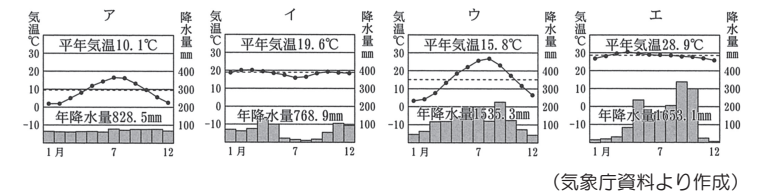
- ノート1の〔あ〕に当てはまる適切な値を、小数第1位を四捨五入して整数で書きなさい。
- 下線部aにかかわって、資料2を参考に、ケニア(ナイロビ)の雨温図を次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。
- 桜さんは、下線部bの理由について調べ、ノート2にまとめた。ノート2の〔い〕に当てはまる適切な説明を、時間と施設の2語を用いて30字以内で書きなさい。



▲資料1 ケニアの日本向けバラの輸出量 (農林水産省植物検疫統計より作成)

最低気温15℃以上で最高気温25℃以下が最適
日照時間が長い

▲資料2 バラの栽培環境 (農林水産省生産局資料より作成)



ノート2

- オランダ経由の場合
- ・総輸送時間約36時間。
 - ・切り花の国際市場を経る。
- ドバイ経由の場合
- ・総輸送時間約18時間。
 - ・バラを入れた大型容器を冷蔵保管できる施設が2006年空港近くに建設された。



ドバイを経由すると、〔い〕ことで、バラの品質を落とさずに輸出できるようになったからだ。

〈長野県改変〉

(3) ③